



Connected &
Autonomous

ソフトウェアディファインドビークル： 組織構築と戦略

ソフトウェアディファインドビークル（SDV）への移行は、自動車業界が新しい技術を採用する前は活用できなかった多くの機会を自動車メーカーにもたらしています。このイノベーションの中核を成しているのは、新技術を活用して機能の収益化をポイントオブセールスからアフターセールスへとシフトする機会です。

ライフサイクルの全体にわたって開発および拡張する余地を残しつつ、こうした新しいエクスペリエンスを車両に組み込むためには、業界全体での戦略的再編成が不可欠です。OEM、車両ブランド、新しい自動車メーカーは今後、エコシステム全体を考慮しつつ、SDVが秘める技術的可能性と「第3の居住空間」としての潜在的な役割に対して、それぞれの組織をどのように適合させるのが最善かを理解する必要があります。

本書では、SDVを新車ラインナップに取り入れるための様々な戦略を提示します。その過程において、業界の主要プレーヤーがSDV開発にあたってどのように組織を構築しているかについて解説するとともに、ステークホルダーが現在追求している製品、サービス、ビジネスモデルを明らかにします。また、組織的な観点からSDV開発における課題と制約をまとめています。



目次

はじめに

概観：ソフトウェアディファインドビークルへの取り組みの概要

要旨：今日の作業方法が抱える課題と、新しい作業方法にシフトするために取るべきステップを考察

基本情報：SDVについて知っておくべきことのまとめ

ケーススタディ：各OEMの事例と、今日SDVを提供している最先端の組織および戦略のサブライベースを紹介

分析：作業方法の観点と、SDVの導入によってどのように様々なオプションが提供されるのかという観点から、9つのパラダイムを考察

推奨事項：OEMとパートナーが、SDVの5つの主要なメリットを提供するためのステップを詳しく説明次のステップ

関連レポート

ソフトウェアディファインドビークル：
E/Eアーキテクチャ レポート番号：401

本書は、現在の最新アーキテクチャを評価し、ソフトウェアディファインドビークル（SDV）の実現に向けてプランナーやエンジニアをサポートします。SDVの主要なトレンドや技術に関するインサイト、および車両への最適なユーティリティとコストの継続的な提供を可能にするための提言を提供します。また、付属するExcel版では、リリース毎に数千のデータポイントから最新のデータを提供し、適切な意思決定をサポートします。

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

    
毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 ワンタイム

レポート形態

   
PDF PowerPoint Excel Online

ページ数


119

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > OEM、サプライヤー、その他のソフトウェア/テクノロジーステークホルダのソフトウェアディファインドビークルへの取り組みは？
- > これら企業のコーポレートガバナンス、グローバルでの組織体制構築への取り組みは？
- > ソフトウェアディファインドビークル実現で可能になる製品やサービス、ビジネスモデルは？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

100+
Reports published
per year

50k+
Slides of insights,
forecasts & data

4,000+
of auto professionals
who access our reports



SBDカスタマーポータル



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「ソフトウェアディファインドビークル：組織構築と戦略」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

